

留学体験記

3年1組37番 寺道美里

1. 留学に行くまで、留学を志した理由

私は小さい頃は海外の人と触れ合う機会があまりなく、言語というものをあまり知りませんでした。しかし、ふとした時にとあるオーストラリア人と話す機会があり、その方は私達が英語が喋れない事をなんとなくわかったのか身振り手振りを加えながらわかりやすく話しかけてくれました。その時の私は全然英語を理解できなかったのも、周りの人に教えてもらいました。話している最中、私は間違えて日本語で普通に話してしまいました。それは、伝わるわけもなく、困った顔をされていました。その時に自分が英語を喋れたら気持ちが伝わって相手も気持ちよく喋れるのではないかと少し申し訳なく感じ、その時から私は英語や、他の言語を話せるようになりたいと思うようになりました。そこから高校へ入学し、長期留学という選択肢が思い浮かびました。周りにも数々の生徒が留学に行くことを決めていて、それは私の挑戦心をもっと熱くしてくれました。留学といったらアメリカや、英語圏の国が多いと思いますが、私は沢山話されている英語より他の言語を学びたいと思いました。私が聞いた中で特に綺麗だなと思ったのが、フランス語で文化の点でも、他国から移住してる人が多いこと、黒人の方の数がヨーロッパの中でも多い、と聞いていたので同時に色々な文化を体験、知れるのではないかと思いフランスに行くことを決意しました。

準備、努力したこと

フランスに行くまで語学力を少しでも伸ばすために、学校ではフランス語を選択し、外部ではフランス語教室に通いました。そこでは、日本語が喋れるフランス人の先生ですが、日本語に頼らずに挑戦したり、沢山の疑問に思ったことを質問しました。自分でもフランスでやってはいけないこと、スラング、歴史を少し調べました

2. 留学体験記、留学中に学んだこと

私が学んだ事は、主に日本とフランスの文化の違いとホストファミリーや友人先生との関わりから得た自立心の大切さです。まず文化に関して1番興味深かったのは留学に対する認識の違いです。フランスは陸続きなのもありヨーロッパのいろいろな国から移住してきてる人がたくさん居て他の国の人がいるのはごく普通のことです。都会になると当たり前という感じです。日本では海外の人を見ると旅行か留学かどちらかを想像すると思いますが、フランスでは異なり、私が留学した当初は周りの人から移住してきたのか、なんで移住先がフランスなのか、両親は何しているのかとよく聞かれました。私はそのたびにこれは1年間の留学であり移住ではないと説明しました。私はこれは国のあり方、国の位置など全てが異なると認識の違いも生まれるのだと思います。

フランスの高校生活

フランスの高校生活は、日本ととても違い、クラスはあるけど、ホームルームはなく、朝は8時15分に始まり、水曜日以外は17時30分に終わり、逆に水曜日はお昼で終わります。授業にはたくさん選択科目があり、日本の大学のように授業がある時間とない時間がみんな異なります。お昼が長いので学食を食べるか、学校から出ることができ、スクールバスを使ったり免許持ってる人が居たら車やバイクを使って登校していました。フランスは日本と違って同じ年に生まれた人

が同じ学年で、私だったら2008年の生徒が同じ学年でした。私は2月生まれなのでほとんどの人が私より年下でした。私のクラスの中で、留年してきた人が多く、他にも、ジェンダーレスの生徒も他のみんなに公開していて全員受け入れていてとても素敵だなと思いました。

留学中に思い出に残ったこと

フランスの学校でのベルギーパリ修学旅行です。バスで十何時間かけて夜中に向かいました。バスの中では色々なフランスの音楽を沢山かけたりして盛り上がりました。ベルギーはフランス語なので混乱することはなかったです。学年全員とベルギーのグランドプレイスやパリのノートルダムなどを観光し歩きながら友達と喋り仲を深めました。他に美術館博物館なども訪れ、課題もこなしました。そしてホストファミリーとの旅行では、スペインの島テネリフェにいたり、パリディズニーに雪の影響で2回クリスマスシーズンに行けたことです。他に、行事がとてもしっかりしていてクリスマスには大きなツリーを部屋に飾り、その下にサンタさんがたくさんプレゼントを置きます。フランスにはルータンというクリスマスの日までにイタズラする小さい男の子の人形がいて夜中の間に動きます。ホストマザーが毎日イタズラをどうするか5歳のホストブラザーのために考えていてとても面白かったのを覚えています。フランスらしいお城も沢山訪れました。日本と違う風景とても圧倒されました。

留学中に気づいた日本のいいところ

やはり日本は道が綺麗なこと、そして礼儀の正しさ、授業で比較的静かな所など、そして私にとっては円安で、1ユーロ160円なので全てのものが高くて請求が絶えませんでした。フランスではご飯も美味しいし、特に困らなかったのですが、日本食の味付けの細かさ、野菜の調理の仕方がうまいことです。学食の野菜は全て美味しくなかったのを覚えていて、生徒が沢山捨てていました。食料を簡単に無駄にしないところも日本人のいいところだなとそのとき思いました。

留学中に苦労したこと努力したこと

苦労したことは結構ありました。初めの方は新しいことばかりで特に不安なこともなくドキドキの毎日でした。勉強の面は少し不安でしたが、友達もすぐにできて聞いたりしてホストファミリーとも沢山話して言語を身につけることができました。数ヶ月経ってホストファミリーとの間で問題が起きて帰らないといけなかもってなった時は、何があっても寄り添ってくれる日本の家族や親戚がとても恋しくて泣いたことも沢山あり、大変でしたが、結局全て留学団体と沢山相談しホストファミリーを変え、辛かった時期を乗り越え楽しみました。

3.留学を終えて

この一年でもの考え方が変わり、自分に自信ができました。フランスの自由さを体験して、他の人の意見に流されず自分の意見をしっかり持ち、個人個人が唯一無二で輝けるということに気づきとても素晴らしいことだと思いました。この留学で得た貴重な経験を活かし、これから将来で活かせることができるよう、努力していきたいと思います。

